

病害虫発生予察指導情報

(ナシ・ニセナシサビダニ No.4)

令和6年6月18日
鳥取県病害虫防除所

1. 情報の内容

6月中旬現在、ニセナシサビダニの発生時期は平年に比べて早く、発生量はやや多い。

2. 情報の根拠

- (1) 6月中旬現在、県予察ほ場（園芸試験場、殺ダニ剤無散布）におけるニセナシサビダニの葉当たり個体数は723.6頭（平年：682.1頭）で、平年に比べてやや多い（表1）。
- (2) 今年度の発生盛期は平年に比べてやや早い6月上旬（平年6月下旬～7月上旬）と見込まれる。

表1 ニセナシサビダニの発生消長（園芸試験場、殺ダニ剤無散布ほ場）*

月・旬	本年**	平年***
5・上	183.0	4.0
5・中	250.8	27.6
5・下	622.2	195.7
6・上	999.2	585.5
6・中	723.6	682.1
6・下		861.4

*：殺ダニ剤無散布ほ場、1葉あたり寄生個体数（3樹10葉調査）

**：R3年度より調査樹を変更

***：平年値は過去6年（H30年～R5年）の調査結果から算出

3. 防除上注意すべき事項

- (1) 密度増殖が著しい種（ハダニ類、サビダニ類など）は、発生初期の防除（初期密度の低い時点での防除）が重要である。また、ニセナシサビダニ被害の多少は新梢停止期の早晚の影響が大きい。
- (2) 新梢の停止期が遅く、ニセナシサビダニの被害が増加するような場合は追加防除を行う。

(参考)

慣行防除ほ場（5月23日にモベントフロアブル2，000倍液、6月14日にハチハチフロアブル2，000倍液を散布）におけるニセナシサビダニの発生消長

表2 ニセナシサビダニの発生消長（園芸試験場、慣行防除ほ場）*

月・旬	防除区	無散布区
6・上	0	999.2
6・中	0	723.6
6・下		

*：1葉あたり寄生個体数（3樹10葉調査）